

NaturalPaint  
自然塗料シリーズ

天然塗料・染料

じょうかきしぶ  
上柿渋



天然  
自然塗料

環境に  
やさしい

簡単に  
古代色



上柿渋(Fボトル)

木部・布・和紙の補強に

上柿渋はいろんな用途に使えます



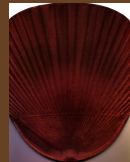
防虫・防腐に



染色に



修復に



補強に

- 防虫・防腐効果 ■
- 撥水性・耐久性 ■
- シックハウス対策 ■

特 徴

◎柿渋は、しぶ柿の実を圧縮濾過し長期間発酵熟成させたものです。日本の伝統的な天然の塗料・染料で古くから木材・和紙・布・紙などの補強にまた数回塗ることで防虫・防腐・耐水性を持たせ、丈夫にすることに使用されてきました。

規 格

◎100ml・250ml・500ml・1L・2L・5L・18L

塗り面積

◎1Lあたり約8㎡(2倍希釈時約16㎡)

製造元



創造・街を彩る・未来へ歩む  
有限会社 シマモト

〒834-0031 福岡県八女市本町2番地265  
TEL.0943-22-5135 FAX.0943-22-5136

販売店

## 天然塗料柿渋

# 上柿渋

上柿渋は、柿の実を搾汁・ろ過・長期発酵熟成したもので、日本の伝統的な塗料・染料です。

柿渋は古くから布・糸・和紙・木工など、防虫・防腐・補強にすぐれ丈夫にする効果を目的に利用されています。

上柿渋の使い方

### ■ポイント■

上柿渋(原液)を清水(水)で希釈することで色ムラがなく剥離を抑えられ仕上げることができます。  
(例 上柿渋50% : 清水50%)

●塗装方法：一回塗り面積1リットル当り約8㎡(2倍希釈時約16㎡)

- ① 塗装する面の汚れ、油などを取り除きムラなくきれいにします。
  - ② 木目を出す場合、塗る前に細かいペーパーで木目をだしてください。
  - ③ 木材をよく乾燥させてから、数回塗り重ねてください。
- ※ 仕上がりの色目を更に濃くする場合は、上柿渋色人で始めに着色し十分乾燥後必ず上柿渋で重ね塗りして仕上げてください
- ※ 塗り重ねる場合は半日以上間隔をあけてください。

### ●染色方法

- ① 染める布・糸・紙の汚れ・油などを取り除き十分乾燥させます。
  - ② 浸染・刷毛塗りなどで徐々に着色していきます。  
浸染/刷毛塗り・乾燥を繰り返しお好みの色に仕上げてください。
  - ③ 十分に乾燥後流水で洗ってください。
  - ④ 時間が経過しますと若干色が濃くなりますので、薄めに仕上げるのがポイントです。
- ※ 仕上がりの色目を更に濃くする場合は、上柿渋色人で始めに着色し十分乾燥後必ず上柿渋で重ね塗りして仕上げてください
- ※ 塗り重ねる場合は半日以上間隔をあけてください。

乾燥時間

表面乾燥時間は約2～6時間(塗り重ねは半日以上間隔をあけてください。)

使用上のご注意

- ※ 上柿渋は塗ったすぐに耐水性がありませんが、渋が自然に酸化することで耐水性がでできます。  
耐水性が必要なときは一定期間乾燥させて下さい。
- ※ 直射日光が当たる面は色が濃くなります。
- ※ 本品は鉄製品に反応し錆がでます。容器などは鉄製品以外(プラスチックなど)をお使いください。
- ※ 本品は容器内で発酵が進みすぎ、ゼリー状に凝固しますので長期保存は避けてください。
- ※ 温度差によってゼリー状に凝固する場合があります。ゼリー状になったものは元には戻せません。

規格梱包

100ml (Fボトル)・250ml (Fボトル)・500ml (Fボトル)・1L (Fボトル)・2L (PETボトル)  
400ml (エコロパック)  
5L (ポリ内装ダンボールケース詰)・18L (ポリ内装ダンボールケース詰)

創造・街を彩る・未来へ歩む



有限会社シマモト

〒834-0031

福岡県八女市本町2番地265

TEL・0943-22-5135 FAX・0943-22-5136